

# らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

こんにちは、らくだです。

公式ラジオで告知されていた、ビーズログ文庫×カクヨム「恋愛小説コンテスト」について、応募要項が発表されました。

初回のコンテストは複数レーベル合同でしたが、今回はビーズログ確定なので、女性向けでデビューを目指す投稿者に朗報です。

以下、公式サイトへのリンク。

【応募要項】

[https://kakuyomu.jp/contests/bslog\\_lovestory](https://kakuyomu.jp/contests/bslog_lovestory)

- ・ 募集内容     はっとしてキュンとする恋愛小説
- ・ 受付期間     2016年10月3日～2016年11月30日
- ・ 賞金     大賞（30万円＋書籍化確定）、特別賞（5万円）
- ・ 規定字数     本文8万字以上（長編、連作短編等の形式は不問）
- ・ 応募資格     カクヨムに会員登録している日本在住の個人

海外投稿ダメなんですね……。

打ち合わせとか契約とかの関係ですかね……。

それはさておき、締切日は11月末。

ビーズログ文庫でデビューしたい場合、4月のえんため大賞を狙うしかありませんでしたが、新たなチャンスが増えたわけですね。

エンターブレインが刊行する書籍は、自分も読者としてよく読んでいますし、この賞も盛り上がって欲しいです。

こんにちは、らくだです。

公式サイトのお知らせ通りラノベ文芸の2次発表がありました。

以下、発表ページへのリンク。

【発表ページ】

[http://www.fantasiataisho.com/contest/4th\\_bungei.php](http://www.fantasiataisho.com/contest/4th_bungei.php)

2次選考で23本から6本に絞られました。

通過された皆様はおめでとうございます。

ちなみにラノベ文芸は2次の後が最終選考。

結果発表は10月上旬予定ということなので、サイトの更新を楽しみに待ちたいですね。

それから話は変わりますが。

毎月恒例のらくだ図書館パブ版を配信しました。

今回で56冊目になりますが、ブログ本体ともども、よろしく願い致します。

【らくだ図書館 (56)】

<http://p.booklog.jp/book/109428>

ダウンロード数は1ケタで振るわないですが、閲覧数は3~4ケタで結構多いようなので、これからも毎月配信していこうと思います。

なにはともあれ、もう9月ですね。

9月は自分の誕生日(25日生まれ)ですし、そうでなくとも秋が一番好きな季節なので、これから張り切って活動したいところです。

こんにちは、らくだです。

選考中のカクヨムエッセイは相変わらず連絡がなく、受賞はたぶん絶望的なので、今回はコンテスト期間中の本音などを話してみます。

読者選考の投票期間中は、メールやブログのコメントから、多数の感想を頂きました。

非常にありがたい話です。

しかし自分は正直なところ、そういう感想が来るたびに、軽くイラッとしていました。

「メールの感想は別に不要なんで、★を入れてくれませんかね（汗）」

そうなのです。

メールやコメントで感想をもらっても、ランキングには一切反映されません。

それより★（スター）を1つでも入れてもらった方が、コンテストのランキング上は有利になるわけです。

というわけで読者選考の投票期間中は、カクヨム以外のルートで届く感想にイライラし、そんな自分に自己嫌悪する毎日でした。

これではスター乞食です。

せっかく届いた感想に感謝できないなんて最低です。

そんな不誠実な過去の態度は反省しておりますし、投票が終わった今だから言えることですが、頂いた感想はどれも大切な宝物だと思っています。

（もちろんカクヨム以外から届いた物も含め）

とにかく自分の未熟さを、今回の経験を通して、否応なしに痛感しました。

こんな状態ではいけないと思うので、もっと大きな人間になりたいです。

今日は寿司だ！

といっても回転寿司だけど！

そんなわけでスシローに行ってきました。

実を言うと人生初のスシローです。

今までくら寿司しか行ったことがありませんでした。



回転寿司のレーンですが、お昼の非常に混雑している時間だったせいか、立て札しか流れてきません。

どうしよう！

これじゃ何も食べられない！

と思ったら個別にオーダーできるんですね（汗）

さっそく好きなネタを集めてみました。

はまち、中とろ、まぐろ、びんちょうまぐろ。



まぐろウマー！

はまちもウマー！

他にもたらふく食べた後は、デザート注文しました。

その名も北海道ミルクレープメルバ。

アイスの上に具を乗せたデザートをメルバと呼ぶそうです。



寿司屋のデザートなんて……と思ったら、想像以上にオイシイじゃないですかー！

むしろメルバを食べまくりたい。

いや寿司も普通においしいけれど。

なにはともあれ無事に完食。

立派な皿タワー(?)ができました。



普通のお寿司もいいですが、食べたい物を好きなだけ自由にとれるのが、回転寿司の魅力ですよ。

以上、投稿と関係ありませんが、今回は回転寿司の話でした。

こんにちは、らくだです。

やっと9月になりましたが、台風の影響なのか、蒸し暑い日が続いています。  
今年はひどい猛暑でしたし、余計に秋が恋しいですね。

さて本題。

先週あたりから断続的に発生していた、「小説家になろう」の接続障害ですが、外部からの攻撃が原因だった模様です。

詳しくは公式ブログ参照。

該当記事へのリンクを載せておきます。

【小説家になろう公式ブログ】

<http://blog.syosetu.com/?itemid=2181>

これ……。

通過発表時の鯖落ちなら、まあ理解できるんですが……。

そういう時は自分も F5 アタックしますもんね。

負担になるとは知っていても、通過発表は気になりますから。

いやしかし、通過発表でもないのに攻撃するなんて、一体どういう事情があるんでしょうか？（汗）

理由が想像できません。

仮にサイトに恨みを持っていても、まさか DoS 攻撃はしないですよ。

とにかく詳しい事情はわかりませんが、利用者が快適に小説を書いたり読んだりできるよう、一日も早く解決するように願っています。

こんにちは、らくだです。

このたび小説家になろうで新しいコンテストが開催される模様です。

その名もズバリ、

「ツギクルブックス創刊記念大賞」！

ツギクルブックスは新しいレーベルで、詳しくは下記リンク先に載っています。

【ツギクルブックス創刊記念大賞】

<http://books.tugikuru.jp/award.html>

- ・ 応募方法     なろうに作品を投稿しキーワード『ツギクル大賞』を設定
- ・ 募集ジャンル     不問（完成・未完も問わない）
- ・ 規定字数     書籍化のため 10 万字以上推奨
- ・ 受付期間     2016 年 9 月 7 日～ 10 月 31 日
- ・ 応募条件     他社開催のコンテスト等と二重登録可
- ・ 受賞作品には「AI を利用して小説作品の構成要素、特徴、文章の読みやすさなどについて分析したレポート」を進呈

というわけで。

二重投稿を正式に認めている、非常に珍しいコンテストです。

ただし現状ですと二重投稿を認めている賞はほとんどなく、ツギクル大賞で OK でも他の投稿先でアウトになるので、二重投稿を実行するケースはあまりなさそうに感じますが。

あとそれから、AI レポートも気になりますよね。

こちらはウェブ公開される可能性があるそうなので、一体どんなレポートなのか、これからも最新情報を追っていきたいと思います。



こんにちは、らくだです。

先日 UP した「コンテスト期間中の本音」ですが、自分の書き方が悪く誤解を生んでしまったようなので、なんだか弁解がましいですが今回はその追記を。

最初に主張しますが、感想は嬉しいです！

読んでもらえるだけでも十分に嬉しいのに、さらに感想まで送ってもらえるなんて、書き手として嬉しくないはずがありません。

つまり感想が嬉しいのは大前提として、その上で★まで欲しがってモヤモヤしてしまう自分は、なんと欲深い未熟者なのだろう……と。

星まで欲しがる。

これダジャレではありませんよ。

とにかく「コンテスト中イライラした」というのは、自分自身へ向けられた感情であって、感想をくださった方に怒っているわけではありません。

追記は以上です。

書き方に問題があったせいで、変な誤解を生んでしまい、大変申し訳ありませんでした。

こんな至らない部分だらけの自分ですが、感想がありがたいのは本当なので、これからも応援して頂けると嬉しいです。

いやしかし、文章で何かを伝えるって、本当にものすごく難しい作業ですね。

今のブログも（一応これでも）頑張ってますが、もっと楽しくて役に立つ記事が書けるように、ブログスキルをさらに向上させたいです。

やだー！

ノベルの選評が届いたわー！

というわけで。

コバルトノベル大賞（1次落ち）の選評が到着しました。

去年は8月20日でしたが、今年は9月8日でしたね。

3週間遅くなった理由は、勝手な憶測ですが、応募数の増加でしょうか。

中身は……。

まあ、その、うん……。

項目評価はズラリとCだらけだったし、コメントの内容も厳しめ&短めで、ちょっと見込みがないような感じでした。

今回は完全に評価シートをもらう目的で、自分でもイマイチだと思っている作品を送りましたが、そんな作品を送っても好評価が得られるわけないので、これってあまり意味がない行為ですね。

Cの連続は勘弁です。

愛のABC（古い）ならともかく、評価シートはAがいいです。

とにかく落胆してしまったので、自分でもダメだと思っている作品を選評目的に送る行為は、今後は控えようと決めました。

あと今待っているのは、えんための評価シート。

こちらの間もなくだと思うので、なんだかちょっと怖くもありますが、手元へ届くのを待ちたいです。

電撃の最終選考作品が発表された？  
今年を送ってないから関係ないわ～。

と思いつつ結果を確認したところ……。

【発表ページ】

[http://dengekitaisho.jp/announce\\_23\\_01.html](http://dengekitaisho.jp/announce_23_01.html)

なんと！

知ってる投稿者さんが最終選考に残っているじゃないですか！

実は去年その方の小説を下読みして、その作品もすごく面白かったんですが、まさか1年後の第23回で最終に残るなんて、いやもう本当にめでたい限りです。

今年は高次通過の常連さんがたくさん落ちている印象で、選考が厳しくなったのかと怪しんでいましたが、通過する人はしっかり通過しているわけですし、投稿者としては文句を言わずに頑張るしかありませんね。

しかし本当に、親しい投稿者さんがファイナリストになって、鼻高々です！

(……親しいですよ？)

(急に不安になって確認する奴)

自分もこの流れに続きたいところですが、今年は通過どころか送ることすらできなかったのも、道のりはまだまだ果てしなく遠い感じ。

そもそも投稿しなかったら、受賞確率は0%ですもんね。

来年の話をすると鬼が笑うと言いますが、来年こそはちゃんと参加できるよう、自分も頑張らなければ……  
と思いました。

「七転八倒していた常木さんがようやく最終選考に！ おめでとうございますー紛らわしいわ！！w」

このコメントをくれた方ありがとうございます。  
正直そのツッコミが欲しくて昨日の記事を書きました。

でもせめて「七転び八起き」と言ってください！  
「七転八倒」だと悶絶してるみたいじゃないですか！

いやまあ悶絶しちゃうくらい、投稿成績ヒドイですけどね（汗）

さてさて。  
そんな恒例の自虐芸はさておき、今回はカクヨムブログの紹介を。

「ゲームシナリオ用小説コンテスト」について、『グリムノーツ』のプロデューサー石井諒太郎さんへのインタビューが、9月8日更新のカクヨムブログに掲載されました。

コンテスト開催の経緯なども載っており、特にこの賞の参加者にとっては、非常に有益な情報になるかと思えます。

[【「ゲームシナリオ原作小説コンテスト」開催記念企画！『グリムノーツ』プロデューサーに聞く、グリムノーツとゲームシナリオのお仕事のすべて！！】](#)

今回はスマホゲームの二次創作のコンテストだから、参加者少ないんじゃないかなー（失礼）と思っていたのですが、現段階で100作以上の応募が集まっているようですね。

締切は10月2日なので今後も増えそうですし、どんな作品が選ばれて実装されるのか、これからも情報を追っていきたいと思います。

以上、『グリムノーツ』インタビューの話題でした。

## 「第2回カクヨム Web 小説コンテスト」開催決定- 2016.09.11 Sun

---

こんにちは、らくだです。

電撃の話題で後回しになってしまいましたが、「第2回カクヨム Web 小説コンテスト」の開催が、9月9日更新のカクヨムブログで発表されました。

そのうち第2回があるだろうとは思っていましたが、予想以上に早く来たので正直ビックリしています。

リンクはこちら。

応募要項などの詳細は来月発表らしいです。

### 【「第2回カクヨム Web 小説コンテスト」を開催します】

第1回は自分も参加しました。

せっかくの初回開催ですからね。

その時に不満だった点は、

- ・不正の横行（ファボ爆・未読評価・字数の水増し）
- ・ランキング至上主義（ランク下位だと通過の可能性ゼロ）

今は編集部によるピックアップ制度ができたので、ランク下位作品でも選考を通過する可能性があり、2点目の不満はある程度は解消されたかな……と。

あと規定に「**本文**〇〇字以上」と書かれるようになったので、用語説明やキャラクター紹介ページを作ることによる字数の水増しも、一応は規制の対象になったんじゃないかと推測しています。

（悪いのはあくまで「水増し」であって、用語説明そのものは悪くないですが）

とにかく他にも色々改善されていると思うので、具体的にどう変わるのか、来月の応募要項の発表を楽しみに待ちたいです。

先月カドカワ BOOKS に持ち込みした作品、今日までに返信が来るはずなんですが、何も連絡がないのは落選ってことでしょうか。

ちくしょう！

あの作品が落選なんて、まったくの予想通りだ！

しかし落ちても返信が来るはずなんですけどね（汗）  
もう数日待つて連絡がなかったら問い合わせしてみます。

さてさて。  
今回も発表に関する話題を。

小説とは直接関係ありませんが、えんため大賞「自作ゲーム部門」の1次結果が、公式サイトで発表されました。

応募総数は小説部門と比べると少ないですが、「自作ゲームを応募する」という難しい企画の割には、かなり多く集まったんじゃないかと思います。

【発表ページ】

[http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/select/18th\\_gamebuild\\_1st.html](http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/select/18th_gamebuild_1st.html)

- ・ 応募総数 44 作品
- ・ 1次通過 13 作品
- ・ 通過率 約 30 %

通過された皆様はおめでとうございます！

公式サイトの情報によると次が最終選考で、結果発表は9月下旬らしいので、どんな展開になるのか見守りたいと思います。

うわああああ！

カドカワ BOOKS からメールが届いた！

どうしよう！？

これって持ち込みの結果だよね！？

ドキドキしながらメールを開くと、

「本作、編集部にて拝読させていただきました。

その結果、大変魅力的な作品ではございましたが、残念ながら、弊レーベルにおいては本作の書籍化は難しいと判断させて頂きました。」

うん、知ってた（棒読み）

……というわけで、お断りされました。

予想通りの結果ではありますが、それでもやはり寂しいものです。

まあでも、小説の持ち込み制度は現状あまりないですし、投稿者にとっては非常にありがたい機会ですよ  
ね。

原稿を編集部のスタッフ直々に読んでもらえて、おまけに公募とは違い、わずか2週間程度で返事がもらえるわけですし。

そういうわけで、今回の結果はひたすら残念な限りですが、他にもこういう持ち込みのチャンスがあれば、これからも積極的に参加していこうと思いました。

落選の経験は悲しいですが、とはいえ、失うものはゼロですからね。

そこが投稿者の強みだと思いますし、これからも格好つけず活動したいです。

こんにちは、らくだです。

以前も紹介しましたが、ぺんてる×ウェブコバルトの投稿企画「文房具小説賞」が、10月2日まで開催中です。

規定枚数は原稿用紙 50 枚以内。

その他詳細は下記リンク先をご覧ください。

【文房具小説賞】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/stationery-award-apply/>

ところで。

文房具にまつわるエピソードと言えば、自分はこんな経験をしたことがあります。

- ・ 電撃大賞に過去最高の自信作を投稿
- ・ 手帳に「1次発表」「2次発表」「最終発表」等の予定を書き込む
- ・ ところが1次であっさり落選……（泣）
- ・ 2次以降の書き込み全部無駄やん！
- ・ 急いで修正テープで予定を消すが、うっすら透けて見えて何この哀愁

という話を書いて送ったら、間違いなく落選しますよね。

そもそも小説ではなく、リアルな実話ですしね。

当時の赤裸々な体験談は、らくだ図書館の過去ログ（[コチラ](#)）に載っていますので、気になる方は是非どうぞ。

今披露したのは修正テープにまつわる悲しい思い出ですが、賞の開催元はコバルトですし、きっとロマンチックで素敵な小説が集まっていることでしょう。

以上、文房具小説賞の宣伝からのスペシャル自虐記事でした。



## 文学フリマ短編小説賞の結果- 2016.09.15 Thu

---

こんにちは、らくだです。

10日遅れの話（汗）ですが、小説家になろう主催「文学フリマ短編小説賞」の結果が、9月5日（月）に発表されました。

いやはや。

いつも情報の遅いブログで申し訳ありません。

何はともあれ受賞者の皆様はおめでとうございます！

【文学フリマ短編小説賞】

<http://buntanpen.hinaproject.com/>

今回選ばれたのは大賞2本・優秀賞3本。

どの作品も小説家になろう上で閲覧できます。

そして、そして。

受賞作を集めた短編集（紙書籍）が、次回の文学フリマで販売されるとか。

- ・2016年9月18日（日） 第4回文学フリマ大阪
- ・2016年11月23日（水） 第23回文学フリマ東京

詳細は文学フリマの公式サイトへ。

大阪の方はちょうど今週末開催ですね。

【文学フリマ】

<http://bunfree.net/>

以上、文学フリマ短編小説賞の話でした。

カクヨムエッセイの受賞連絡はありましたか？

というコメントが来ましたが、現段階で電話もメールも一切ないので、どうせ落選に決まっています。

え？

投げやりすぎる？

仕方ないだろ！

近ごろ不連続きなんだ！

いやもう本当に、えんため大賞は落選するし、ノベルの評価シートは散々だったし、カクヨム BOOKS は丁重にお断りされるし、ここ数か月うまくいかないことの連続ですよ（泣）

まあね。

それが平常運転なんですけど。

うまくいった瞬間なんて実は一度もないですし。

という冴えない日々を送っているわけですが、遠くの幸せばかり見つめていると、足元にあるものを愛せなくなりますからね。

もちろん目標は受賞（遠くの幸せ）なんですけど、うまくいわずに悩んだり落ち込んだりしている毎日を、まずは自分で愛せるようになりたいです。

灯台もと暗し。

幸せは意外と足元に転がっている。

投稿に限らず何でもそうだと思いますが、とにかくその気持ちを胸に、楽しいワナビ生活を送っていきたいです。

こんにちは、らくだです。

最近すっかり日が暮れるのが早くなってきましたね。

18時台になるともう薄暗いので、いよいよ秋だなあという感じです。

さてさて。

集英社ラノベの3次発表がありました。

以下、いつも通りリンクです。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx5thAward/result.html>

- ・応募総数 681本
- ・1次通過 138本（約20%）
- ・2次通過 27本（約4%）
- ・3次通過 9本（約1.3%）

すでに9本に絞られていますが、集英社ラノベは4次までであるので、最終選考まであと2段階です。

というわけで厳しい戦いですが、この中からどの作品が選ばれるのか、しっかりと見届けたいですね。

ちなみに4次発表は10月上旬。

そして10月といたら、秋募集の締切もあります。

スニーカーやHJの締切も10月ですし、これからも各賞の動きを迅速に発信できるよう、最新情報を追っていきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

今年は本当に台風が多いですね。

平穏な日常あってこそその創作ですし、災害には十分に気を付けたいです。

さてさて。

第 29 回富士見ファンタジア大賞の結果発表がありました。

今回選ばれたのは大賞 1 本・金賞 2 本・銀賞 1 本・特別賞 2 本で、下記ページの総評にもありますが、滅多に見られないほどハイレベルな作品が多かった模様です。

【発表ページ】

[http://www.fantasiataisho.com/contest/29th\\_first.php](http://www.fantasiataisho.com/contest/29th_first.php)

受賞された皆様はおめでとうございます！

自分も早く追いつけるように頑張ります（白目）

それにしても金賞作品の評で、「ライトノベルではないですが非常に良く出来たラブストーリー」という、気になる一文があるんですね。

あ、あれ……？

ラノベじゃなくても受賞できるの……？

もちろん完成度が高いのは受賞する上で大前提だと思いますが、あまり「ラノベはこう」と意識しすぎず、自分の好きな物を思いっきり書いた方がいいのかもしれないね。

と思いつつ最後まで読み進めたら、編集長の評にも、同様のことが書いてありました。

自分はずいつつ賞ウケを狙って、盛大に空回りしてしまうケースが多いので、今後気を付けようと思いません。

こんにちは、らくだです。

らぶドロップスが主催する、「恋愛小説コンテスト」 & 「ムーンドロップスコンテスト」が、9月30日締切となっています。

応募要項は下記参照。

かなり細かい規定があるので、参加予定の方々は要確認です。

【応募要項】

<http://www.publishinglink.jp/news/2128/>

- ・ テーマ <らぶドロップス賞「真実の愛」、ムーンドロップス賞「運命の恋」>
- ・ 受賞作は竹書房より書籍化
- ・ 規定字数は11万字～13万字
- ・ 必ず働く女性を主人公にする
- ・ 大人の女性がドキドキ&ワクワクできるラブシーンを入れる
- ・ 結末はハッピーエンド限定
- ・ 審査の対象は応募期間中に完結した作品に限る

あの、すみません……。

「真実の愛」と「運命の恋」の違いがわかりません……。

というわけで自分は見送りですが、その辺の書き分けが正確にできないと、女性向け作家はつとまらないのかもしれないね（汗）

あとこのレーベルの場合、受賞作の絵師さんが最初から決まっているので、そのイメージに合った作品を書くのも受賞を狙う上で大事なかなと思います。

以上、らぶドロップスのコンテスト紹介でした。

こんにちは、らくだです。

いよいよ9月も下旬ですね。

月末の賞に投稿される皆様は、仕上げで忙しい頃でしょうか。

さてさて。

秋締切の賞といえば「講談社チャレンジカップ」があります。

講談社は「ラノベ文庫新人賞」が4月締切、「ラノベチャレンジカップ」が10月締切。

賞金の額や評価シートの有無などが違いますが、詳細については公式サイトをご確認ください。

【講談社チャレンジカップ】

<http://lanove.kodansha.co.jp/award/challengecup/>

他の賞に見られない点は、

- ・枚数制限 40文字×34行で100枚～無制限
- ・ウェブ応募の場合ファイル名は作品タイトルにする
- ・対応形式 テキスト (txt)、MS Word (doc, docx)、OpenOffice (odt)、一太郎 (jtd)、PDF (pdf)

というわけで枚数の上限は無制限。

ネットの賞では普通ですが、ラノベの公募では、この賞が唯一かと思います。

あと対応形式の多さも魅力的。

テキスト限定だとルビの取り込みミスが怖いですからね（汗）

以上、今更ではありますが、講談社チャレンジカップの紹介でした。

こんにちは、らくだです。

今回はフィギュアスケートの話題です。

シーズン初戦のジャパンオープンが、いよいよ来月、10月1日（土）に開催されます。

以下はテレビ東京の特設ページ。

シーズン初の大きい試合なので楽しみですね。

【ジャパンオープン 2016】

<http://www.tv-tokyo.co.jp/japanopen2016/>

ジャパンオープンは3年前に現地観戦しましたが、会場のさいたまスーパーアリーナが広すぎて、選手の姿がまるで米粒くらいの大きさでした。

まったく見えねえ！

ジャンプの種類どころか、選手の判別もできねえぞ！

で、仕方ないからビール祭りへ行って、酒を飲んだくれて帰った思い出が。

(当時の記事は[コチラ](#)です)

(もちろん試合は最後まで見ました)

とまあそんな経験もありますが、今年は大人しくテレビ観戦の予定なので、自宅でひっそり楽しむつもりです。

ちなみに今シーズンの会場は、NHK杯が札幌の真駒内アイスアリーナで、全日本が大阪なんですよ。

全日本は何がなんでも行きたいので、競争率は高そうですが、チケット取りを頑張ろうと思います。

ある日突然自宅へ届いた、サッポロ黒ラベル× 12本。

え？

こんなの買ったっけ？

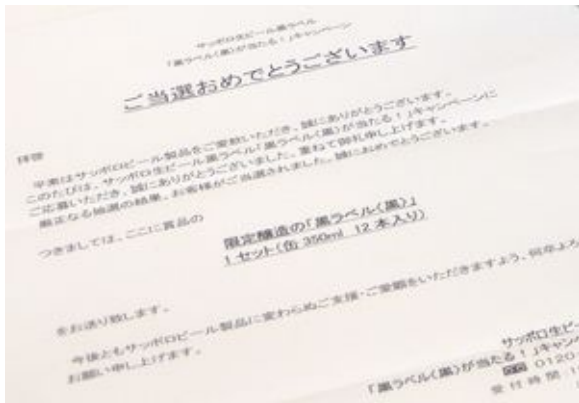
(動揺)



酔った勢いでポチっとしたのかと、一瞬自分を疑いましたが、どうやら懸賞に当選したようです。

ダンボールの隙間にこんな紙が。

こういう懸賞って実際に当たるんですね。



いや、うん……。

落選するたびにヤケ酒してれば、そりゃ応募シールも集まるわ……。

と悲観的になりそうですが、懸賞に当選したことは純粋にラッキーですし、怪我の功名(?)ですよね。

うん！

この幸運を投稿にも繋げるぞ！

ちなみに次の応募予定ですが、改稿作を集英社ラノベに投稿しようかなと、今のところは考えています。



(質問してくださった方ありがとうございます)

以上、ヤケ酒を続けた結果、黒ラベルが当選した話でした。

こんにちは、らくだです。

MF の応募要項に「よくある違反」をまとめたページが出来ました。

MF に投稿する場合はもちろんですが、他の賞にも該当する情報なので、チェックしてみてもいいでしょうか。

### 【よくある違反】

<http://www.mediafactory.co.jp/bunkoj/award/apply/apply/#web-att-more>

#### ・ 行数や文字数の違反

Word の設定で句読点が詰められている場合は特に注意！

#### ・ ページ番号の入れ忘れ

賞によって扱いは様々ですが、MF の場合は規定違反になります。

#### ・ 手書き原稿は不可

手書きによる本文修正なども不可。ルビとページ番号は手書きでも可。

#### ・ 個人情報の不備

ペンネームなしはいいが、本名なしは認められない。

#### ・ あらすじは物語の結末まで書く

たまに煽りや自己紹介(?)を書いてくる人がいるそうです。

特に気になったのは以上ですが、他にも色々な実例が載っています。

Word の設定で字数が詰まるのは、自分もやっているかもしれません(汗)

せっかくの作品が規定違反で落ちたら悲しいですし、ここに載っている例が該当しないか、自分も改めて投稿する前に見直したいと思います。

今日のお昼はサブウェイ！

というわけで。

サブウェイ野菜ラボ グランフロント大阪店へ行ってきました。

こちらの店舗は野菜ラボという名前の通り、店内で野菜を作っているのですが、利用方法は普通のサブウェイと一緒です。

今回はツナをオーダー。

もちろん肉も魅力的ですが、ツナもおいしいんですよね。



【問題発生】

レタスが多すぎて本体へ辿り着けない（汗）

野菜通常でこの量ですからね。

増量したらどうなってしまうんでしょう。

知人が注文したチキンは、具があまりにも多すぎて、パンは敷き物の状態でした。



グランフロント前の大阪駅の広場では、くまもと観光復興キャンペーンを開催中。

おお！

くまモンだらけ！



熊本関連のクイズに正解すると、ガラポンの抽選に参加できます。  
自分は残念ながらハズレでしたが、熊本の特産品が景品になっていました。

無料配布のサンバイザーもありました。  
取ると下にくまモンからのメッセージが出てきます。



大阪駅の南側の広場には、くまモンのアクアアートが。

上から降ってくる水がくまモンの姿になっています。

ほんの一瞬ですが、写真ではわからないと思うので、動画ファイルで掲載。

[くまモン](#)

以上、サブウェイ&くまもとキャンペーンの紹介でした！

9月25日は常木らくだの誕生日！

というわけで。

メッセージをくださった皆様ありがとうございました。

もはや誕生日を喜ぶような年齢ではないですが、しかしながら、こうして祝ってもらえるのは純粋に嬉しいです。

なにしろ今年は宣伝してないですからね（汗）

つまりメッセージをくださった皆様は、去年から覚えてたってことでもんね。

とにかく周囲の支えがあってこそこの投稿ですし、このありがたい気持ちを胸に、これから一年また新たな気持ちで頑張りたいです。

さて本題。

少年エース×カクヨム「漫画原作小説コンテスト」の中間発表がありました。

以下リンク。

読者選考と編集部による拾い上げ、あわせて30作品が通過した模様です。

【発表ページ】

[https://kakuyomu.jp/contests/shonenace\\_contest/nominated](https://kakuyomu.jp/contests/shonenace_contest/nominated)

最終候補の数はこれくらいが普通ですよね……。

エッセイコンテストはどうして70作品もあったんだろう……。

ちなみに最終結果は「少年エース12月号（10月26日発売）」に掲載されるとか。

おそらくカクヨムでも発表されると思うので、この中からどの作品が受賞するのか、来月のサイトの更新を楽しみに待ちたいです。

えんための選評が届きましたが- 2016.09.26 Mon

---

こんにちは、らくだです。

えんための選評が届きましたが、宛名の本名が間違っていました。

ははは……。

前は作品名を間違われたけど、今回は本名が違うなんてね……。

まあ「吉田」が「吉川」になるような、漢字1つの間違いですし、無事に届いたからいいとしましょう。

で、気になる中身なんです。

全体的に指摘の内容は的確で、うんうんと頷きながら読んだんですが、最後にあった総合コメントが、

「本気で書いたらもっと面白い作品が書ける作者だと思います」

えっと……。

すでに本気なんです……。

(困惑)

可能性を買ってもらえたのは嬉しいですが、すでに本気で書いているのに、これ以上どう本気になればいいんでしょう。

というわけで最後までツッコミどころ満載で、どう受け取っていいか困ってしまう内容でしたが、この経験を自分なりに消化できるよう努めます。

以上、えんための選評が届いた話でした。

とりあえず次回の投稿では名前や作品タイトルを間違わないことを目標にしたいと思います。

一つ前の記事を書いた後、「常木はまだ本気出してないだけ」とかコメント欄でいじられましたが、自分はいつも本気ですから！

遊び半分じゃないですよ……。

本気を出してこの成績なんですよ……。

(トホホ)

とまあそれはさておき。

第 22 回スニーカー大賞の 2 次結果が発表されました。

以下リンク。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://sneakerbunko.jp/award/index.php>

タイトルが気になるのは『首吊り坊主が燃えている』でしょうか。

そのまま見ると和風な猟奇ミステリーですが、スニーカーで 1 次通過している以上はライトノベルなのでしょうし、一体どんな内容なのか気になってしまいます。

特に勝ち抜きバトルの新人賞の場合、平凡な題名では他の作品に埋もれてしまうので、タイトルで目立つことも重要ですよね。

とはいえタイトルで奇をてらって内容が面白くないと、自分の過去作『好きです、ザビエル様』のように爆死するので、小説として面白いことが通過の大前提ではありますが。

とにかく次は 3 次発表。

来月には更新されるはずなので、引き続き、楽しみに待ちたいと思います。



こんにちは、らくだです。

いよいよ9月も終わりですね。

9月～11月は特に締切が多いですし、忙しい方も多いのではないのでしょうか。

さてさて。

MFのサイトにある「よくある違反」を以前紹介しましたが、HPのリニューアルと同時に、「ワンポイントアドバイス」の専用ページも公開されました。

以下リンクを掲載。

よく選評に書かれるような内容ですが、1ページにまとまっているので便利です。

【ワンポイントアドバイス】

<http://www.mediafactory.co.jp/bunkoj/award/question/advice/>

載っているのはいずれも基本的な内容ですが、本当にできているのかと問われると、なかなか実践はできていない項目ばかりです。

「アイデアで大切な点は新規性あるいはアレンジ性」とか重要ですよね。

新規性もアレンジ性もない作品ばかり送っている自分は耳が痛い……（汗）

あと文章作法の間違いについて「それだけで即落選にはならない」とか、「文章力に自信がない人は簡潔に書くよう意識すべき」とか、実用的な情報も色々と載っています。

というわけで。

MFは少年向けライトノベルのレーベルではありますが、少女小説にも一般文芸にも当てはまる内容ばかりなので、未チェックの皆様はご覧になってはいかがでしょうか。

【今週のブログテーマ】 今回のテーマ：【「食欲の秋」】

今日は 29（ニク）の日！

というわけで火鍋へ行ってきました！

場所は小肥羊の梅田店。

いつもは昼間に行くのですが、今回は初めてのディナーです。



食欲の秋といえば、やはり鍋ですよ。

まあ火鍋は年中食べてますが、次第に肌寒くなってくるこの季節の鍋は、身体が温まるし元気が出ます。

コンロのスイッチを入れると、さっそく湯気が出てきました。



香辛料のいい匂い……！

ちなみに秋は風邪をひきやすい季節ですが、火鍋の香辛料は漢方なので、何気に体調を整える効果もあつ

たりします。



肉を投入の図。

それからコラーゲンボールを追加注文。

って待って！

コラーゲンボール鍋に入れたら、一瞬で溶けちゃったんですけど！

と焦りましたが、コラーゲンボールは食べるのではなく、スープに溶かすのがそもそも正解なんだとか。

知らなかった……。

ミートボールみたいな食べ物だと思ってたよ……。



とにかく無事に完食しました。

ところでこの店舗、阪急グランドビルの29F（ニクの階！）にあるので、昼はもちろん夜は夜景が素晴らしいオシャレスポットだったりします。

下の写真は現地で撮った大阪駅周辺の夜景。

店から見えるのは逆方向ですが、デートにもピッタリだと思います。



以上。

今週のブログテーマをたくみに利用した、火鍋のダイレクトマーケティングでした。

カクヨムエッセイ結果発表！

常木らくだは無事に落選した模様！

【発表ページ】

[https://kakuyomu.jp/contests/essay\\_contest/result](https://kakuyomu.jp/contests/essay_contest/result)

- ・応募総数 576 作品
- ・最終候補 70 作品 (12 %)
- ・受賞 3 作品 (0.5 %)

というわけで。

最終まで行った「らくだ図書館（カクヨム版）」は受賞できませんでした。

落選自体は残念ですが、それと同時に、納得もしております。

というのも。

拙作を応援してくださった方の大半は投稿者さんですからね。

この内容を書籍化して店頭で並べた時に、名もない投稿者の落選談に一般人が興味を持つかということ、そこはかなり微妙な部分だと思いますし。

そんなわけで書籍化デビューは難しいと思いますが、「自分の投稿体験を周囲に伝える」という活動には大きなやり甲斐を感じていますし、この行為は今後もブログで続けていこうと思います。

ちなみにコンテストはこれで終わりましたが、応援してくださった皆様には、感謝してもしきれないほど感謝しております。

今回のこの経験を自分自身の糧として、より良い投稿ブログを書けるよう精進しますので、今後もよろしくお付き合いくださいませ。